

東京・浅草から約70分で小江戸とちぎ！ 明治時代から続くお囃子を聞いてみよう！

## Things to do in Festival「栃木市」Vol.2

～1874年から続く、2年に一度の秋祭りを間近で体験～

東武鉄道株式会社

東京の下町・浅草から東武鉄道に乗り、約70分で行ける栃木県栃木市は小江戸と呼ばれ、日本の古い街並みや舟運の文化が残っています。二年に一度開催される「とちぎ秋まつり」、今年は秋まつりの年です。豪華絢爛で勇壮な山車巡行をこの機会にどうぞ！古き良き日本文化を体感できる街「栃木市」をご紹介します。

### 夜の間に浮かび上がる幻想的で大迫力の山車が揃う～栃木の秋まつり！～

「とちぎ秋まつり」は明治7年（1874年）、県庁構内（当時の栃木町、現在の栃木市）で行われた神武祭典に山車を繰り出し祝ったことに始まります。まつりに繰り出す山車は「江戸型人形山車」と言い、江戸時代に創られ、天下祭り（江戸山王祭）に巡行していた「静御前」や、人形師・三代目原舟月などの名工たちの手による人形山車が競い合うように繰り出し、町をあげて開催されるようになりました。

「江戸型人形山車」の特徴である人形は、主に古事記や日本書紀（両方とも日本の古い歴史書）に登場する神々や英雄、民俗信仰や伝説にちなんだもの、中国の英雄、豪傑を模したものなど、多彩な顔ぶれとなっています。また、複数の山車が向き合って、お囃子を競い合う「ぶっつけ」がまつりの見どころの一つで、各山車を曳く祭人の頭同士の掛け声によって「ぶっつけ」が始まります。祭人が提灯を振りかざし、掛け声をかけながら、お囃子を盛り上げ、お囃子の調子がずれた山車が道を譲るのがお約束となっています。掛け声は各町内を鼓舞する独特なもの。みなさんも大声を張り上げてみては…。

さらに夜の山車巡行は、各山車に提灯の明かりが灯り、幻想的な世界が広がり、闇に浮かび上がる山車の姿は息をのむほどの美しさで、写真映えすること間違いなし！

- ・ 栃木市観光協会：<http://www.kuranomachi.jp/english/>
- ・ 栃木市紹介映像：<http://www.kuranomachi.jp/english/movie>



上 昼巡行風景：「ぶっつけ」  
右 昼巡行風景：豪華絢爛な山車の曳き回し



秋まつり2018年11月9・10・11日開催



上 夜巡行風景：「ぶっつけ」  
右 夜巡行風景：揃い踏み



## 秋祭りの日でもなくても気軽に祭人気分～山車会館～

2年に一度開催の「とちぎ秋まつり」がデジタル技術を駆使した演出と実物の山車で再現され、まつりの迫力と山車の素晴らしさを満喫することができます。1995年に開館した山車会館では、栃木県指定有形民俗文化財の山車の保存も兼ねており、祭りの興奮をいつでも楽しめるようにと、実際に「とちぎ秋まつり」で活躍している3台の山車を常時展示しています。また定期的に山車を入れ替えており、訪れる度に新たな視点で楽しめる勇壮で豪華絢爛な山車に出会えることでしょう。2018年1月から約2か月間休館し、海外のお客様により一層楽しんでいただくため、デジタル技術を駆使した映像プログラムをリニューアルしました。多言語対応にもなり、今まで以上に海外のお客様も楽しめるプログラムとなっています。リニューアルし、新しく生まれ変わった山車会館にてさらに深く日本文化にふれてみてはいかがでしょうか。フレンドリーな職員一同お待ちしております。

・栃木市観光協会：<http://www.kuranomachi.jp/english/>



山車会館正面



展示品の数々



勇壮な太閤秀吉  
人形展示



リニューアルして多言語対応となった映像プログラム！映像だけでなく、本物の山車を間近で見られます！！二年に一度の秋まつりを体感できます！！

## 「蔵・畳・ふすま・和食、伝統的な和風建築の宿」～かな半旅館～

蔵の街大通り沿いに位置し、創業は江戸安永年間の歴史ある旅館です。古くは閑院宮もお泊りになり、逸話では、イギリス人女性旅行家イザベラバードが宿泊したと伝えられている由緒あるお宿です。館内にはその歴史を偲ばせる蔵や建築が所々に見られます。歴史を感じる通路は、当時の蔵がそのままのこっており、200年前にタイムスリップしたような気分になること間違いなし！レトロでノスタルジックな雰囲気の空間で日本的な懐かしさを感じながらゆったりとお過ごしいただけます。お食事は選ぶことができ、とてもリーズナブル！しかし、侮るなかれ、栃木の特産物や江戸時代に出されていた食材を現代風にアレンジした江戸御膳をはじめ、和食を堪能できるものとなっています。また、アレルギーに配慮した料理や宗教上の理由などお客様の都合により、食べられないものがある場合は、予約時に伝えていただければご希望に沿うことが可能です。もちろん素泊まりもOKです。歴史と気品ある旅館ですが、女将の笑顔でほっと癒される安心感があり、気軽に立ち寄っていただけるフレンドリーなお宿です。旅の記念に女将さんとの写真も忘れずに！

かな半旅館のHPは英語・中国語・韓国語にも対応しており、下記URLを気軽にクリック！

・かな半旅館HP：<http://www.kanahan-ryokan.jp/>



食事処も営んでいる「かな半旅館」正面



蔵のある館内。200年前へタイムスリップ！



栃木の食材を使った「江戸御膳」



大正7年に建築された由緒あるお部屋！空いていたら絶対リザーブ！



やさしい笑顔の女将さん

宿よし  
料理よし  
居心地よし  
女将の笑顔が  
旅の疲れを癒  
します。

宗教上の理由など、食べられないものがある場合は、ご予約時お申し付けください。

## 「色とりどりの和紙を堪能」～毛塚紙店～

蔵の街大通り沿いの山車会館近くにある毛塚紙店。蔵の街とちぎの中でもめずらしい5軒の見世蔵が軒を連ねている一角にあるお店です。紙製品を手にとって見るだけでも日本の紙文化を感じられる場所です。日本の風習で、婚約するときに使う結納用品やおめでたい時に使うご祝儀袋の他、折り紙、和紙小物、紙風船等日本の伝統を手軽に購入することができます。



めずらしい五連の見世蔵！その真ん中にあるのが「毛塚紙店」



折り紙で遊ぶ

日本古来の手動扇機：団扇



とちぎの山車がペーパーラフトに！おうちに帰ったあとも組み立てる楽しさがあり！余韻を楽しもう！



日本の伝統！ご祝儀袋。お土産にぜひどうぞ！

## <東武鉄道沿線のおすすめ観光エリア情報>

東武鉄道グループは、約90社から成る日本の大手企業グループです。関東で最も長い営業距離を誇る東武鉄道の沿線には、東京の観光名所である浅草・東京スカイツリー、世界遺産と温泉が有名な日光・鬼怒川温泉、美しい花が咲き誇る館林・足利エリア、江戸情緒が残る川越など、多くの観光スポットがあります。東武鉄道グループ周辺観光サイト TOBU JAPAN TRIP：<http://www.tobujapantrip.com/en/>

※その他のメディア向け資料や画像は、右記のサイトをご参照ください。 Mynewsdesk：<https://www.mynewsdesk.com/tobu-railway>